

従業員向け

放課後等デイサービス評価表

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	6	・支援スペースは、狭く感じるが、全体を見渡しやすいのはいいと感じている。 ・過ごしやすくするにはどうしたらいいか考え、構造化を考えている。おもちゃの場所等、視覚的に分かるようカードで示している
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	4	・支援スペースは、メインで活動する2ルーム以外にも、落ち着くための小部屋を確保している。 ・生活空間は、毎日活動後の清掃と消毒を実施している。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	・必要に応じて、利用者さんが自ら移動したいことを伝えられる環境である。 ・支援スペースでは、車椅子の子が安全に過ごすスペースの確保が難しい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	2	・職員の配置は、送迎時に大変な時がある。 ・玄関や、生活空間は、車椅子で簡単に移動できるほどバリアフリー化ができています。(トイレも広く、手すり等もある)
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	・生活空間が清潔で心地よく過ごせる環境になっているかはわからない。 ・配置基準を満たした上で、4～5人職員を配置している。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1	・PDCAサイクルは、個人としては理解していると思っているが、広く伝わっているかというところではないかも…と感じる ・構造化についての意見を共有し、改善策を職員間で考えている ・職員が意見を出し合い、都度（終礼・朝礼支援の見直し・ヒヤリハット等）話し合える体制が作ってある。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	・第三者による外部評価は分からないのが現状。 ・職員の資質の向上を図るために、社員研修や社外研修、オンライン研修、パート研修などに参加しやすい環境が整っている。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・保護者向け評価表の実施についてはわからない。 ・業務改善を進めるためのPDCAサイクルは、朝礼や終礼で行うことができている。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	7	・保護者向け評価表に関して、一年に一度、保護者向けアンケートを行い、職員に共有できている。 ・朝礼や終礼時にスタッフ一同で話し合っている
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	・支援プログラムは玄関に掲示している。また、契約時に説明を行っている ・支援プログラムは全員の思いを統一されたものが公表されていると感じる。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	・活動プログラムはマンネリ化にならないよう新しい事に取り組もうとしている。 ・アセスメントに対して、偏った見方にならないように数名の職員で確認している。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・職員間で支援の共有会議を行っている。 ・個別支援計画は、月2回共有し、その時の現状に合わせたスモールステップを検討している。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	・日々の記録は、支援目標に対する評価欄や、その日の様子を記入する欄と分かれている。 ・職員全員で共有会議を行い、より良い活動となるよう工夫している。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	・活動プログラムが固定化されないよう、定期的に集団遊びの内容を変えている。また、毎月、ワークショップやみらくるロードの内

適切な支援の提供

16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> 容を変えている。 ・朝礼にて、その日の支援内容や役割の確認を話し合っている。 ・終礼にて、その日の出来事を日報に記入し、翌日の朝礼にも共有している。また、自分が出動じゃない時の日報にも目を通し確認する体制をとっている。 ・モニタリングや支援計画は6ヶ月に1回必ず見直しの機会を設けている。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子供が自己選択できるよう、長期休暇では朝礼にて一問一答やチョイスタイムの遊び選びを行なっている。また、平日には、自立課題やその日の取り組みを事故選択できるよう視覚的支援を取り入れ、行なっている。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・活動プログラムの立案では、スタッフ同士が意見を出し合っている。 ・朝礼のミーティングで情報の共有をしている。また、役割分担も確認している。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子供が自己選択できるように、自分からの発信等を促す目標を立てている。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後等デイサービスの計画についてはわからない。 ・個別支援計画を作成する際には、共有会議を行い、計画を作成した人の思いだけではなく、職員全体の意見を聞き、意見を取り入れている。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の適応行動の状況についてはわからない。 ・4つの基本活動についてはわからない。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子供が自己選択できるよう、写真や絵カードから選ぶことができるように環境を整えている。 ・半年に一度保護者様のお話を聞き、現状を把握した上で、支援計画を作成している ・支援の共有会議を行い共通の理解のもと個別支援計画を作成している
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・発達検査などを受けた結果を保護者様から共有してもらっている。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6	2	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼でその日どんな活動を行うのか職員間で話し合っている。 ・長期休暇の活動など新しいことが出来ないかなど皆で考えている。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの様子に応じて個別活動をしたり、集団遊びを行っている。 ・PECSを用いたり選択できる所から支援を行っている
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の先生から様子をお聞きしたり、みらくるでの様子を伝えたり、積極的に連携をとろうとしている。 ・会社として、ペアレントトレーニングを行っている。研修に参加している。
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との子供の状況共有では、お迎え時や連絡ノート、必要時は電話やメールにて様子をお伝えしている。 ・地域の保健、医療等の関係機関との連携は、わからない。
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者のお迎え時に、その日のことをお伝えしたり、保護者からの要望や意見などを聞いている。 ・学校卒業後の情報提供に関してはわからない。
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の児童発達支援センターとの連携に関してはわからない。 ・協議会等への参加はわからない。 ・就学前に利用していたところとの情報共有は、必要に応じて保育園の先生から情報をいただく場合がある。
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会へは児発・管理者が参加している。 ・市の子ども部会に参加し、交流をもっている。 ・相談支援事業所にも入ってもらい、就労先へみらくるでの様子やどんな支援を行っているかお伝えしている。
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイザーや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	3	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーバイザーの研修を受けている。 ・外あそびの時などに機会があると交流を持っている。
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	6	<ul style="list-style-type: none"> ・会社として保護者会を行ったりしている。

関係機関や保護者との連携

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	5	3	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	5	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	2	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントを行い、保護者様の思いをお聞きしている。 ・支援プログラムや、利用者負担に関しては、契約時に説明して署名していただき、同意を得ている。 ・ご家族から何か話があった際には、すぐに話を伺い体制をとっている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	2	<ul style="list-style-type: none"> ・会社として、保護者同士話す機会を設けたり、地域の人も参加できる催し物を考えている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・2カ月に一度通信を作成している。 ・Facebookを行っている。 ・絵カードや視覚的に提示して意思の疎通を図っている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・40.45の項目について何ともわからない。 ・保護者からは面談にて意向を確認している ・子どもには計画作成時にみらくるでどうありたいか聞き取りを行っている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	5	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡ノートに記された相談や、送迎時伝えられた相談は職員間で共有しており、そのままにならないよう対応している ・記名のある書類の配布はダブルチェックを徹底している ・声掛けや、ハンドサイン、イラストなど個別に応じた対応を行っている。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画をお渡しするときに説明を行いサインをいただいている。 ・メダカイベント・ステキカフェ・ステキナイトなど交流の場を設けている。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・鍵がかけられるロッカーに個人情報を保管している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	5	
非常時等の	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットは毎月振り返りを行い、職員間で改善策を検討して再発防止に努めている。 ・事故防止マニュアルや緊急時対応マニュアルは、それぞれの委員会に対応し、委員が中心となって訓練、研修を行っている。また、避難訓練は子供と一緒に、通信などを通して保護者様に子供の様子をお伝えしている。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーがある子供について、保護者の方に確認したり、職員間で共有し、おやつやご飯時に他児と席を離すなどの配慮をしている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画の作成等は、安心安全委員が中心となって行っている。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待を防止するため、虐待防止委員が中心となって研修を行っている。 ・身体拘束は行っていない。 ・避難訓練の実施、感染症対策の研修、防犯についての話し合いを行なっている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・BCPの策定等に関することは分からない。 ・服薬やてんかん発作等に関しては、個人ファイルに情報ははさ

対応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1	<p>み、常に確認・共有ができるようにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーに関しては、医師の指示書はわからないが、基本情報に記載していただき、個人ファイルに挟んでいる。 ・安全計画に関しては、火災や吐物処理などの訓練・研修を行う。 ・安全計画を作成している。 ・虐待防止委員会が中心となり、年4回研修を行っている。 ・身体拘束に関する同意は、個別支援計画に記載し、更新時に説明を行っている。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	